

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援 Good at		公表日		2026年 8月 20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4		①支援ツールをご準備しています。絵カードやセンサーツール、筆記補助具など、使用感を試していただけるように訪問先施設に持参したり、一部貸し出しも行っています。）	ご本人や訪問先施設のニーズに応じて、教具教材の種類や活用方法を継続的に見直し、より効果的に活用できるよう検討していきます。また、貸し出し後の使用状況や効果について継続的に確認し、必要に応じて教具教材の追加や見直しを実施していきます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		①昨年度よりもスタッフを2名増員しましたが、新たな利用希望に十分対応することが難しく、複数の方にお待ちいただいている状況があります。 ②新規の現在はスタッフ3名で対応しており、利用を希望されている複数の方にお待ちいただいている状況です。	利用希望の状況を踏まえ、必要な支援の提供に向けて、職員の配置や人員体制について検討していきます。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		①都度、代表に相談したり、代表からのFBがあります。また、月に一度、事務所でミーティングもあるのでそこで業務についての振り返りや反省、改善策の話し合いができています。 ②毎月のミーティングで確認している ③訪問毎に個別支援目標の振り返りを行っております。	日々の振り返りや定期的なミーティングで挙がった意見を業務改善に活かし、継続的な改善につなげていきます。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		①保護者向け評価表の集計を完了し、改善点の検討を終え、具体的な改善に向けた取り組みを進めています。	保護者向け評価表を通して保護者様のご意見やご要望を把握し、業務改善につなげていきます。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		①3番と同様に、都度意見交流ができています。 ②毎月のミーティングで話し合いを行っている。何かあれば、すぐに代表に電話し、確認している。	スタッフからの意見や提案を積極的に取り入れ、より良い業務改善に活かせるよう努めます。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	①関係機関や専門職から意見や助言をいただき、業務の見直しに活かす機会はありません。 ②何か確認事項があれば代表が指定権者や行政書士、税理士などに確認を取って対応しています。 ③関係のある相談員さんや放デイの方の意見で業務の仕方に変化があった例があった。	第三者による外部評価について、実施方法等を確認し、今後の実施について検討していきます。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4		①研修には積極的に参加させてもらっている。必ず伝達研修の時間をいただいている。	職員一人ひとりの専門性の向上を目指し、継続的に研修へ参加できる機会を大切にするとともに、研修で学んだ内容を職員間で共有し、日々の支援に活かせるよう工夫してまいります。	
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4		①日々の訪問支援でアセスメントを行い、モニタリング、訪問支援個別支援計画の作成に役立てております。	今後も、ご本人や保護者様、関係機関から得られた情報を丁寧に整理し、より適切な支援計画の作成に努めます。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		①児童発達支援管理責任者が作成後、担当のスタッフへと共有し、意見を伝え、必要に応じて加筆修正しています。 ②他のスタッフにも相談したうえで計画を立てている。	スタッフ間で支援の方向性を確認し合いながら、必要に応じて支援計画の内容を見直し、より良い支援につながる支援計画の作成を目指します。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4		①保護者様や訪問先の先生方にも原案をご確認いただき、ご意見をいただいたうえで正案の作成となっています。 ②必ずご相談している。 ③個別支援計画作成時には必ず訪問先の先生と会議を行い、先生のご意見を反映しています。	今後も、訪問先施設や保護者様との連携を大切にし、ご意向を支援計画へ適切に反映できるよう努めます。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		①計画完成後、担当スタッフにも共有して、計画内容を確認したうえで支援を行っています。 ②自分の担当はもちろん、そうじゃない児童の支援計画も常に見られる状態にある。 ③訪問毎に目標の振り返りを行っております。	支援計画の内容や目標について確認しながら、スタッフ間で共通理解を深め、目標に沿った支援を実施していきます。	

適切な支援の提供	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		①日々行動観察とそれをもとにした記録を取り、職員共有も別で記録している。記録形態は施設で統一している。 ②日々の訪問支援における行動観察をもとに、ご本人の行動や周囲との関わり、環境等について記録し、状況を整理しています。また、必要に応じてVineland-II適応行動尺度を用いた評価も行っています。	今後も、日々の行動観察や記録を丁寧に積み重ねるとともに、必要に応じて標準化された評価尺度も活用し、ご本人の状況を多角的に把握できるよう努めます。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4		①ガイドラインについては、すぐに確認できるように教えてもらえた。	今後も、保育所等訪問支援ガイドラインを踏まえながら、状況に応じた具体的な支援内容となるよう検討していきます。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		①訪問毎に目標の振り返りを行っております。	更にスタッフ間の情報共有を強化し、支援計画に基づいた実践の質を高めています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	3	①必要に応じて、支援前に打ち合わせを行っています。 ②基本的に一人で支援に向かっているが、すぐに相談できる体制をとってもらっている。また、支援前に打ち合わせを行う時もあるため、連携していると感じている。 ③各自で訪問先に向かっているため、訪問前打ち合わせは必要に応じて行っている。何かあれば都度チャットや電話で報告、連絡、相談をして対応しています。	訪問支援は職員が各自で訪問先施設へ向かうことが多く、毎回対面での事前打合せを行うことは難しいため、電話やチャット等を活用して必要な情報を事前に共有しています。今後は、支援内容や留意事項等について事前に確認する仕組みを整理し、職員間で共通認識を持って支援に臨めるよう工夫していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		①記録の確認と振り返りを代表としています。 ②支援後、記録を報告してフィードバックをもらっている。記録の共有とは別で電話で報告するときもある。	今後も、支援後の記録や振り返りを丁寧にいき、気づきを職員間で共有しながら、より良い支援につながるよう支援内容を見直していきます。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4		①訪問先の方針や考えを尊重しながら、先生方と相談をして支援を進めています。	訪問先施設の理念や支援方針を尊重し、共通理解を深めるとともに、支援方法について丁寧に確認しながら進めていきます。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4		①記録を取り、支援計画への考察や次の支援に向けての改善としています。 ②毎回目標との関連を意識して改善点等記録している。	今後も、支援記録を丁寧に積み重ね、継続的な様子を捉えながら、状況の整理や支援内容の検証・改善を実施していきます。
関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		①支援計画更新ごとにモニタリングを実施しています。保護者様から変更の申し出や、見直しの必要性があるときには必要に応じて修正をしています。 ②3か月～半年に一度、必ず対面にてモニタリングを行っております。3か月以内であっても目標達成の場合は見直しをし、ケース会議があった際にはモニタリングを行い計画を更新することもあります。	保護者様や訪問先施設との情報共有を継続するとともに、定期的なモニタリングを通して意向を確認し、必要に応じて支援計画を見直していきます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		①代表と担当者が出ている	ご本人の状況を理解した職員が会議へ参加し、関係機関との共通理解を深め、会議で得られた情報を支援に反映していきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		①療育センター等と連携している。 ②医師や地域のリハビリ専門職、心理職、特別支援学校の先生や他の学校の先生や児童発達支援センターなどにご相談をさせていただくこともあります。	関係機関との連携を強化し、より包括的な支援体制を構築していきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		①入学前の学校見学に同行させていただくこともある。 ②就学先へご本人のご様子や支援内容についてお伝えし、情報共有を行っています。また、必要に応じて学校見学に同行することもあります。	就学先との情報共有を丁寧にいき、ご本人の様子や支援内容について共通理解を深めながら、円滑な移行につながるよう取り組んでいます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4		①研修に参加させてもらっている。 ②医師やリハビリ専門職、心理職、児童	今後も、専門家や専門機関からの助言を積極的に取り入れるとともに、外部研修への参加を通して職員の専門性の向上を目指します。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		4	①以前、参加した話を代表より聞いた。 ②今年度は会の情報を得られなかったり、日程が合わず参加できていない。	地域との連携を深めるため、地域の協議会等への積極的な参加を目指します。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		①毎回の支援報告を文書で行い(アプリを活用)、必要に応じて電話や対面で情報共有を行っています。	保護者様と継続的に情報共有を行い、発達の状況や課題を丁寧に把握し、共通理解を深めていきます。

	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	①やっているかわからない。 ②家族支援プログラム等の定期的な実施は行っていませんが、作業療法士が感覚統合について資料を用いて説明する機会を設けたことがあります。また、必要に応じて個別に情報提供を行っています。	ご家族のニーズを踏まえながら、家族支援に関する情報提供を継続するとともに、研修等の機会についても検討していきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		①対面で詳しく説明を行い、ご不明な点にはその場でお答えするよう努めています。	今後も、よりご理解いただきやすい説明となるよう工夫し、丁寧にご案内を心がけ、安心してご利用いただけるよう努めます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4		①支援スタート前には、施設長・校長・先生方に対し、運営方針や個別支援計画について説明を行っています。新年度スタート時にも改めてご説明を行います。	今後も、事業の趣旨や訪問支援の目的について丁寧に説明し、円滑な連携につながるよう工夫してまいります。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		①お子さまご自身にモニタリング、計画作成に参加していただくこともございます。	今後も、ご本人やご家族の意思や意向を丁寧に確認し、ご本人にとって最善の利益を考慮した支援計画となるよう、ご本人やご家族との話し合いの時間を大切にしていきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4		①必ず計画を読み上げてご説明し、ご家族にご意見をいただき必要に応じて修正するなどして計画を作成しています。	今後も、保育所等訪問支援計画について丁寧に説明し、保護者様のご意見を丁寧に伺いながら、ご理解・ご納得いただいたうえで同意をいただけるよう進めていきます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4		①家族支援は個別支援計画に基づいて計画的に実施していますが、状況に応じて柔軟な対応が求められる場合もあります。	今後も、ご家族が相談しやすい関係づくりを大切にし、ご希望に応じて相談の機会を設け、必要な助言や支援につなげていきます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		4	①保護者間交流に関しては私は把握できていないが、保護者様の口コミで利用してくださっている方もいる。 ②現在、保護者同士やきょうだい同士が交流する機軸は設けていません。	保護者同士が交流できる機会や支援について、ニーズを踏まえながら検討していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		①電話やLINEにて対応しており、保護者様からのごや必要に応じて対面またはオンラインにてお話を伺いする時間を設けています。 ②対面、オンラインにて対応をさせていただいています。ご希望に応じてお電話やLINE等でご対応させていただくこともあります。	今後も、ご家族が相談しやすい体制づくりを大切にし、ご相談やご要望に迅速かつ適切に対応できるよう努めます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		①LINEやホームページにて情報発信をしています。	今後も、活動概要や連絡体制等について、ご家族に分かりやすく情報をお届けできるよう工夫してまいります。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		①他機関と情報共有を行う際には、事前に保護者様へ確認することを基本とし、情報共有の方法についてもあらかじめご説明しています。また、事業所内のチャットでは個人名を記載せず、公式LINEのアカウント名についても伏せ字にするなど、個人情報の取扱いに配慮しています。 ②訪問先に持参する書類やデータの共有、郵送の際には、氏名や受給者証番号を伏せるなど、個人情報の取扱いに配慮しています。また、個人情報保護に関する研修も実施しています。 ③他機関との連携時には、氏名の一部のみを表示したり、イニシャルを使用したりするなど、個人情報の共有を必要最小限にとどめています。	今後も、個人情報の適切な管理を徹底し、職員一人ひとりの個人情報保護に対する意識の向上を図っていきます。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		①お子さまは必要に合わせて絵カードの使用などで意思表示への配慮をしています。保護者様に関しても、ご希望に応じた情報伝達方法に取り組んでいます。	今後も、ご本人や保護者様それぞれに合わせた意思疎通や情報伝達の方法を大切にし、必要な配慮や工夫を継続していきます。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4		①ご相談をいただいた時にはその場で回答したり、後日事務所でお話し合いをしてから回答をしています。 ②訪問日以外にも必要に応じてお電話や相談のための訪問等を行っております。	訪問先からの相談に柔軟に対応し、必要に応じて職員間で検討・共有しながら、適切な助言や支援を行える体制を整えていきます。

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	①訪問支援後には、基本的に訪問先施設の先生と対面で振り返りを行い、当日の様子や支援内容を記載した報告書をお渡ししています。訪問先施設のご意向に応じて、電話で振り返りを行ったり、対面でのカンファレンスに代えて、書面やメール等で情報共有を行ったりすることもあります。 ②授業直後やお電話にて振り返りおよび情報共有をさせていただいています。	訪問先施設の先生方のご負担にも配慮しながら、支援後の振り返りや情報共有を丁寧に行い、共通理解を深め、今後の支援について確認していきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	①毎回の支援後にアプリや対面・電話を通してご本人の様子や支援内容を報告し、情報共有を行っています。 ②アプリを通して訪問時間の様子を報告しています。	今後も、支援後のご本人の様子や支援内容について丁寧に共有し、ご家族に分かりやすくお伝えできるよう工夫してまいります。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	①他機関と情報共有を行う際には、事前に保護者様へ確認することを基本とし、情報共有の方法についてもあらかじめご説明しています。また、事業所内のチャットでは個人名を記載せず、公式LINEのアカウント名についても伏せ字にするなど、個人情報の取扱いに配慮しています。 ②訪問先に持参する書類やデータの共有、郵送の際には、氏名や受給者証番号を伏せるなど、個人情報の取扱いに配慮しています。また、個人情報保護に関する研修も実施しています。 ③他機関との連携時には、氏名の一部のみを表示したり、イニシャルを使用したりするなど、個人情報の共有を必要最小限にとどめています。	今後も、個人情報の適切な管理を徹底し、職員一人ひとりの個人情報保護に対する意識の向上を図っていきます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	①ご相談をいただいた時には専門職としての視点を入れて回答させていただくこともあります。 ②適切に応じることができているかは、訪問先施設から頂戴した評価表を参考にしたいと考えています。	訪問先施設との信頼関係を大切にしながら、専門的な視点を活かした助言を行うとともに、訪問先施設からの評価やご意見を踏まえ、支援や助言のあり方を見直していきます。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	①事務所内にマニュアルが置かれているので確認しています。 ②避難経路等確認している。	各種マニュアルの内容や避難経路等を定期的に確認し、緊急時を想定した訓練を通して、職員が適切に対応できる体制を整えています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	①安全計画を作成し、ホームページに掲載しています。安全計画に基づいて訓練や研修を実施したり、公式LINEにて情報発信を行っています。 ②事業所では年に2回避難訓練を行っており、訪問先の訪問時間に避難訓練が開催された場合も参加しています。	安全計画に基づいた研修や訓練を継続するとともに、訪問先施設での緊急時の対応についても確認し、適切に対応できる体制を整えています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	①ヒヤリハット事例があったときにはすぐにチャットにて共有し、ミーティングの際にヒヤリハットについて対応者から報告をする時間を設けています。 ②チャットでヒヤリハットを流しており、全職員にすぐに共有できるようになっている。	今後も、ヒヤリハットを速やかに職員間で共有し、発生時の状況や対応を振り返りながら、再発防止に向けた対策を検討していきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	①虐待防止研修、人権研修を受けています。 ②虐待研修のほか、毎月のミーティングでもほぼ毎回虐待事例について話し合っている。	虐待防止や人権に関する研修を継続するとともに、ミーティング等で事例について話し合う機会を設け、職員一人ひとりの虐待防止に対する意識の向上を図っていきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	①身体拘束となりうるケースについては、事業所内で協議するとともに、保護者様、訪問先施設、相談支援事業所、関係機関等と対応について話し合い、個別支援計画にも記載しています。 ②新しい職員が入職した際にも、身体拘束に関する考え方や対応について職員間ですり合わせを行っています。	今後も、身体拘束となりうるケースについて関係者間で確認・協議し、共通認識を持って対応します。また、やむを得ず身体拘束を行う必要がある場合には、必要な手続きを適切に行えるよう、職員間で継続して確認していきます。